

Polyendocrine Metabolic Ovarian Syndrome (PMOS) という名前はどのようなプロセスを経て決められたのでしょうか



1 開始にあたって- 研究資金とリーダーシップ

この名称変更の取り組みは the Australian National Health and Medical Research Council から助成を受けて行われました。Monash University (CRE-WHiRL) が AE-PCOS (International Androgen Excess and Polycystic Ovary Syndrome Society)、UK patient group Verityとともにこの取り組みを主導しました。このプロセスは、医療の専門家や当事者からなる国際的なグループにより行われました。



2 世界規模での取り組み

患者団体、専門家団体、およびさまざまな分野の専門家が参画し、調査に協力し、名称変更のワークショップに参加する専門家を推薦しました。また今後新しい名称の周知にも協力します。



3 世界中の女性と医療従事者の声を聞く

複数回の国際的な調査が多く言語で実施され、世界中から22,000件の回答が集まりました。



調査結果を基に、世界各地の人々が参加するオンラインワークショップが開催されました。複数回のワークショップを通じて考え方が共有され、アプローチや望ましい条件に対する合意が形成され、正確かつ受け入れ可能で文化的にも適切な、最も良いと考えられる名称が最終的に決定されました。

4 合意形成

候補となったそれぞれの名称の明瞭さ、使いやすさ、移行の容易さがコミュニケーションおよびブランディングの専門家により検討されました。

世界各地の女性や医療専門家たちが参画したワークショップでは、調査結果を踏まえ、文化的配慮も考慮されました。

患者と医療従事者は、病態を正確に反映し、使いやすく、文化的に適切であり偏見を最小限にする名称について最終的な合意に達しました。



5 世界各国への名称変更の周知

世界中の医療、研究、教育、および公衆衛生に関する情報発信の分野において、新名称の利用を拡大するための計画が策定され、現在実施が進められています。

新しい名称は、3年間の移行期間を経て段階的に導入される予定です。



PMOSについてもっと知りたいですか?

従来のThe AskPCOS AppはThe Ask PMOS Appに変わり、最新のエビデンスに基づく包括的で質の高い情報と支援ツールを提供しています

www.askpcos.org/www.askpmos.org

© Monash University